

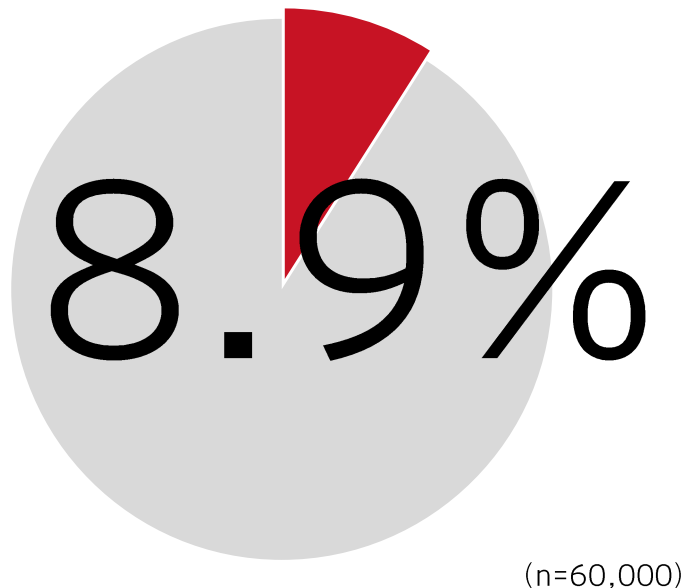
LGBT調査 2018 結果

～基本データ～

- 調査対象：スクリーニング調査 20～59歳の個人60,000名
本調査 20～59歳の個人6,229名
(LGBT層該当者589人/ストレート層該当者5,640人)
- 調査対象エリア：全国
- 調査時期：2018年10月26日（金）～29日（月）
- 調査方法：インターネット調査

日本のLGBT層の割合

(ストレートを除く、LGBT、その他セクシュアリティ)



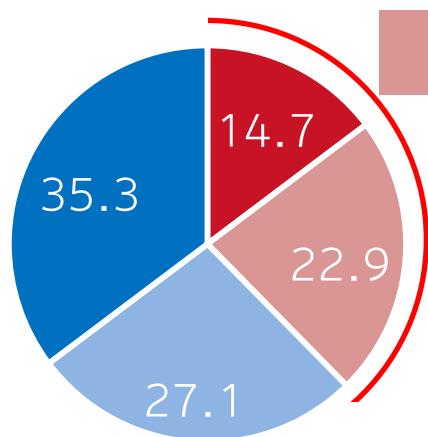
LGBT調査2015年
7.6%

つまり11人に1人という計算。それは左利きの人の割合とほぼ同じ。

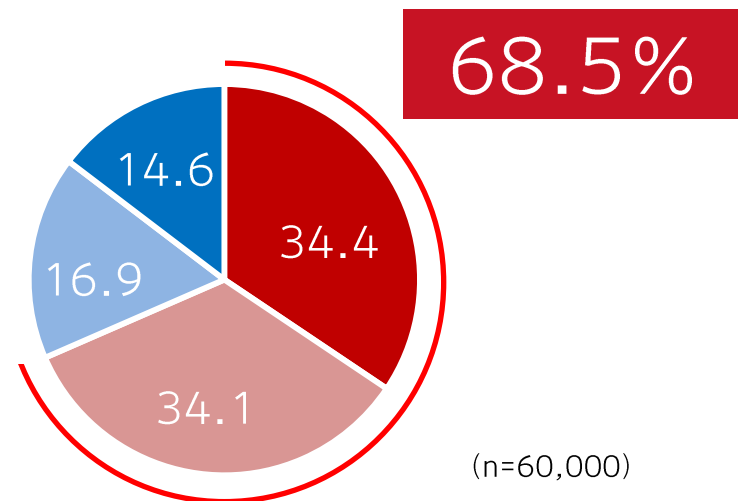
Q：LGBTとはセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつということを知っていますか。

2015年調査

2018年調査



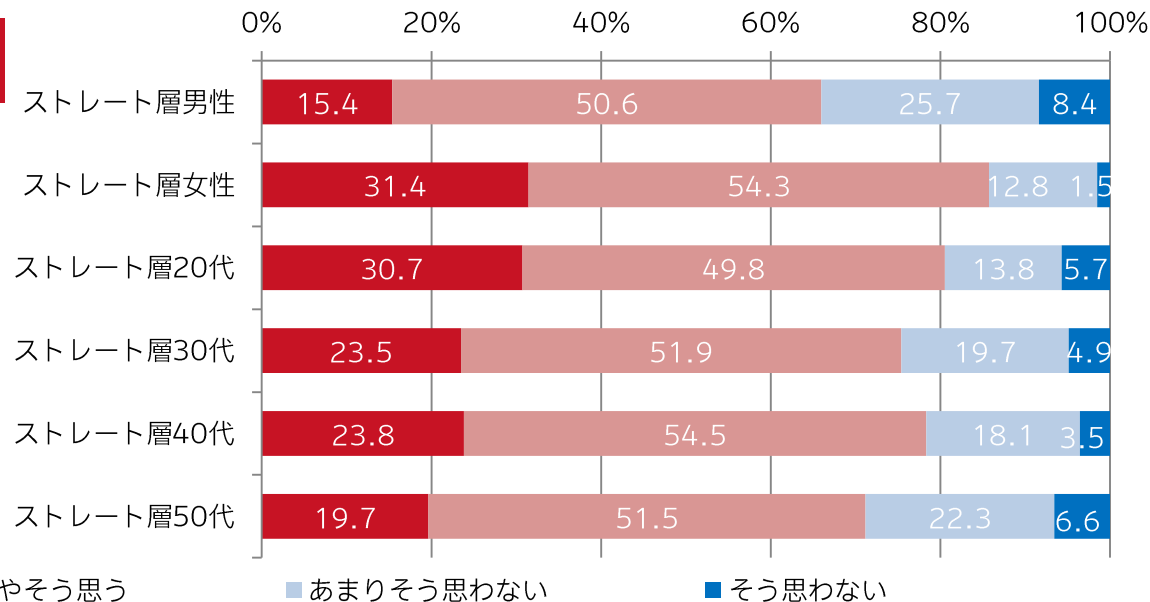
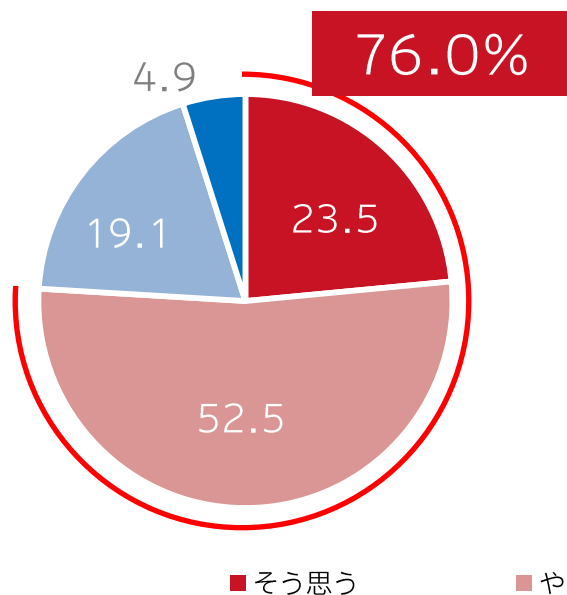
30.9ポイントUP



■ 知っている
 ■ 何となく知っている
 ■ 聞いたことはあるがよく知らない
 ■ 知らない

ここ3年で、L G B T の認知度は急速に前進

Q：LGBTの人に不快な思いをさせないために、あなたはLGBTについて正しく理解をしたいと思えますか。



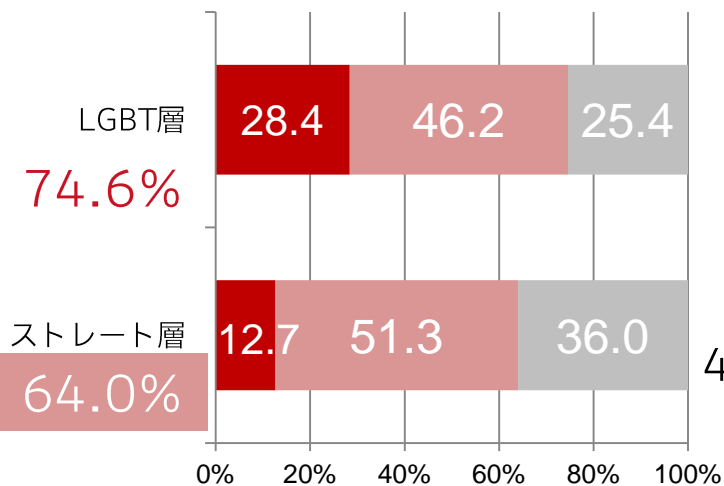
(n=ストレート層 5,640)

76.0%の人が正しい理解をしたいと思っている

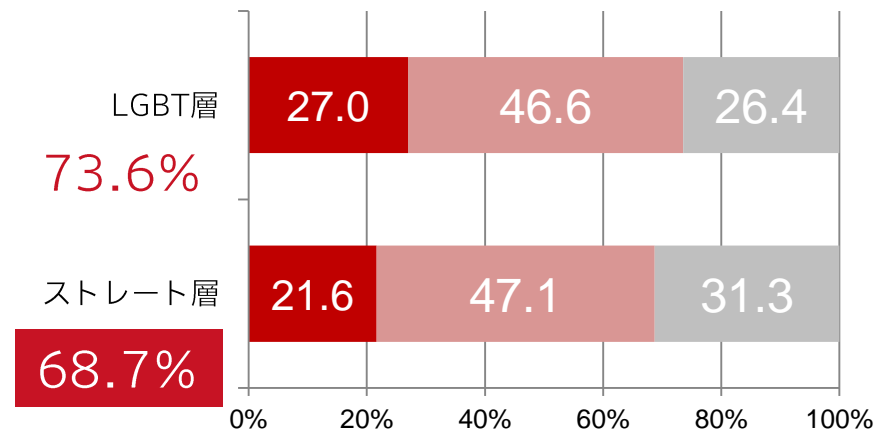
Q:LGBTをサポートしている企業で働きたいと思いませんか。

2015年調査

2018年調査



4.7ポイントUP



■ 待遇や職種に関わらず働いてみたい

■ 待遇や職種が他社と同条件であれば、働いてみたい

■ 待遇や職種のみを重視する

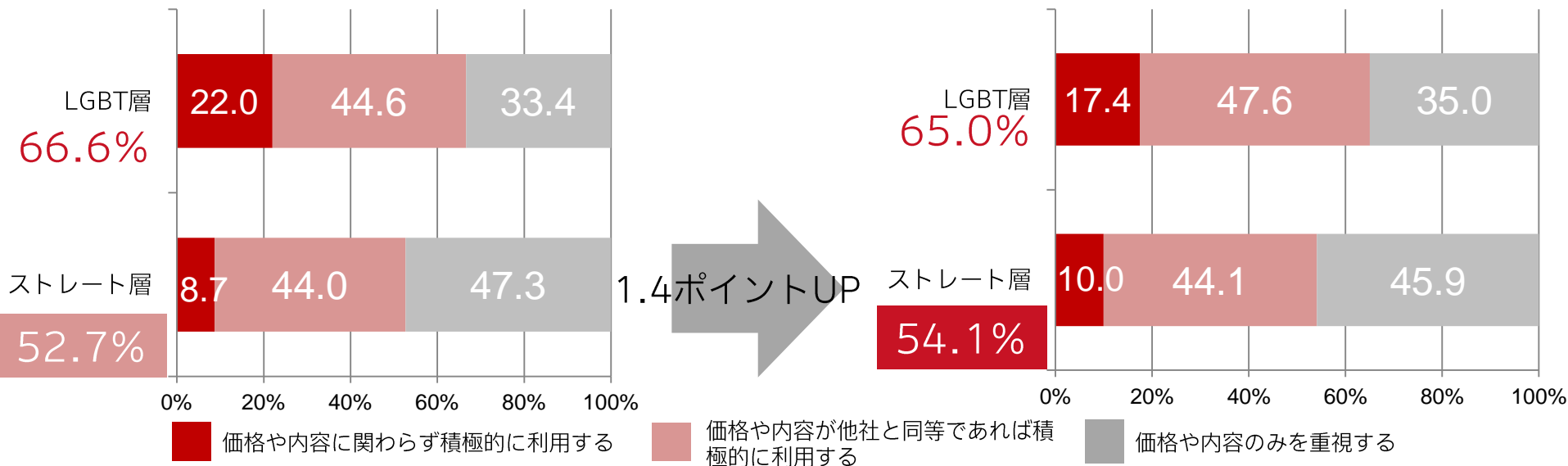
(n=ストレート層 5,640/LGBT層 589)

LGBTサポートは、LGBT層はもちろんストレート層の採用面にも寄与

Q:LGBTをサポートする企業の商品・サービスを積極的に利用しますか。

2015年調査

2018年調査



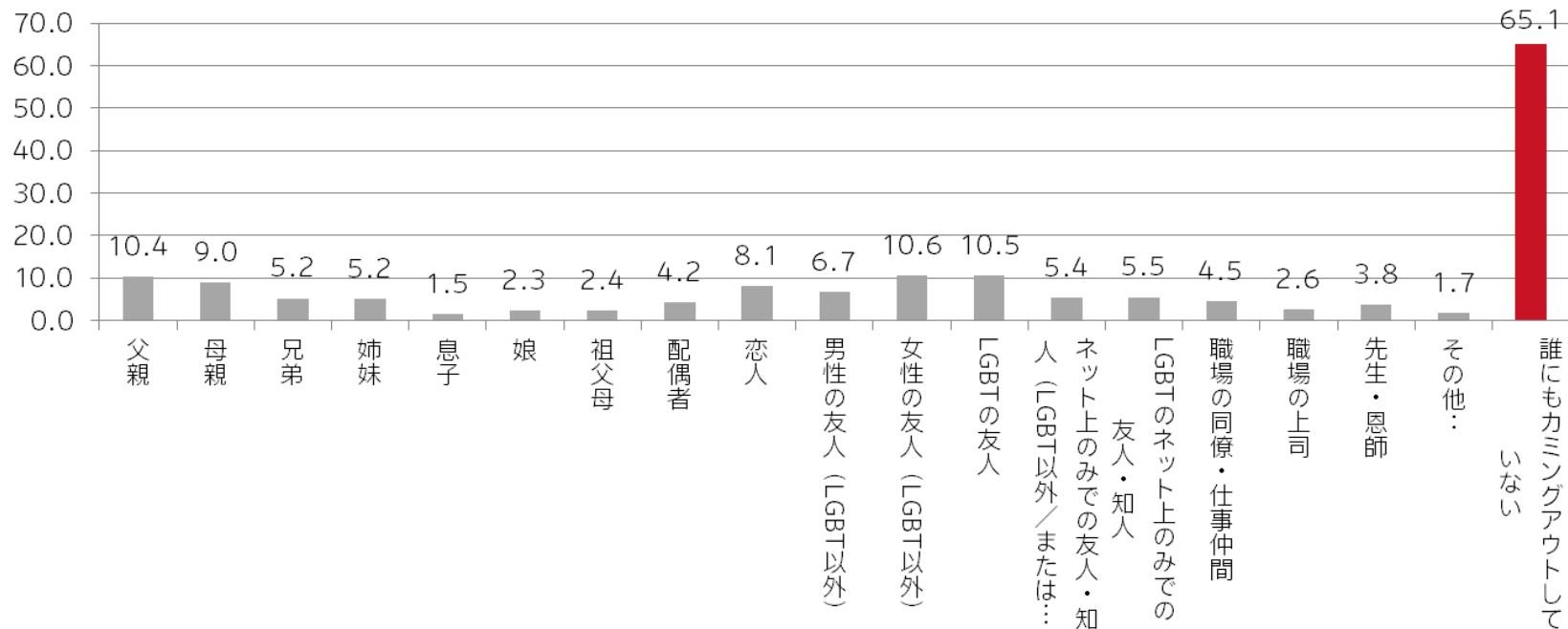
LGBT層
66.6%

ストレート層
54.1%

(n=ストレート層 5,640/LGBT層 589)

LGBTサポートは、商品・サービスブランディングも寄与

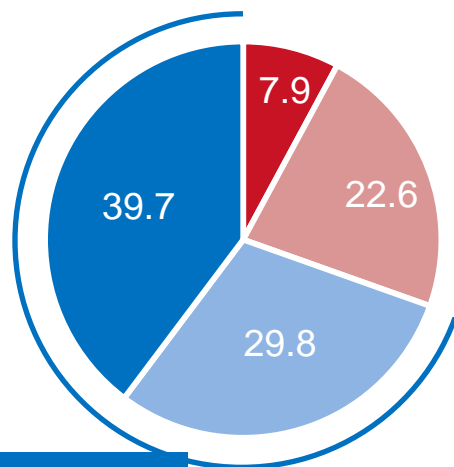
Q:あなたは、LGBT当事者であることをカミングアウト
 (実名で自分のセクシャリティを他者に伝えること) されていますか。



(n=LGBT層 589)

誰にもカミングアウトしていない当事者は多い

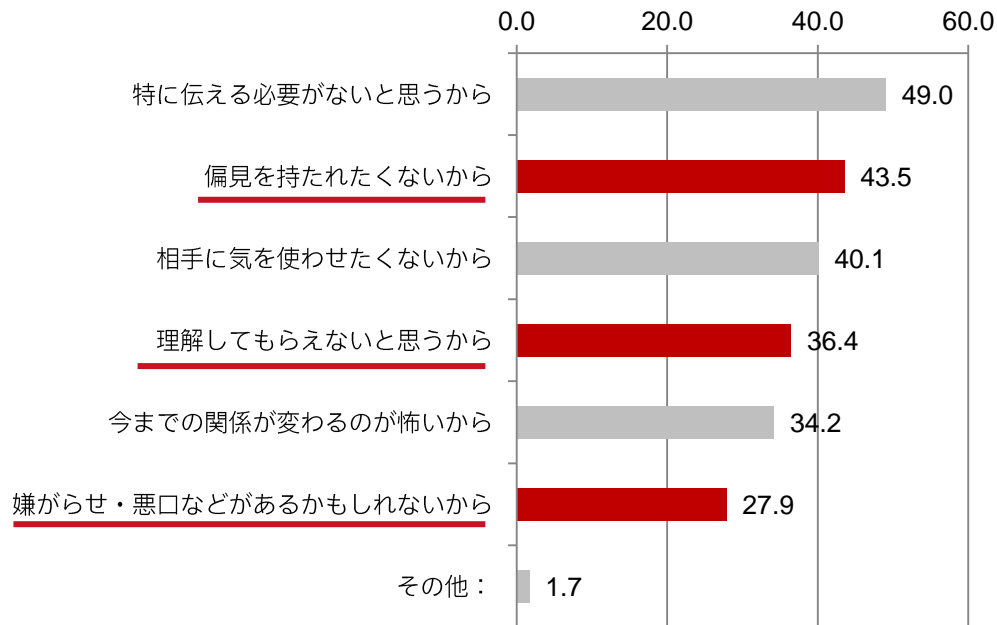
Q:以前に比べて、近年周囲の人にLGBT当事者であることをカミングアウトしやすい環境になっていると感じますか。



- カミングアウトしやすい環境になっている
- ややカミングアウトしやすい環境になっている
- あまりカミングアウトしやすい環境にはなっていない
- カミングアウトしやすい環境にはなっていない

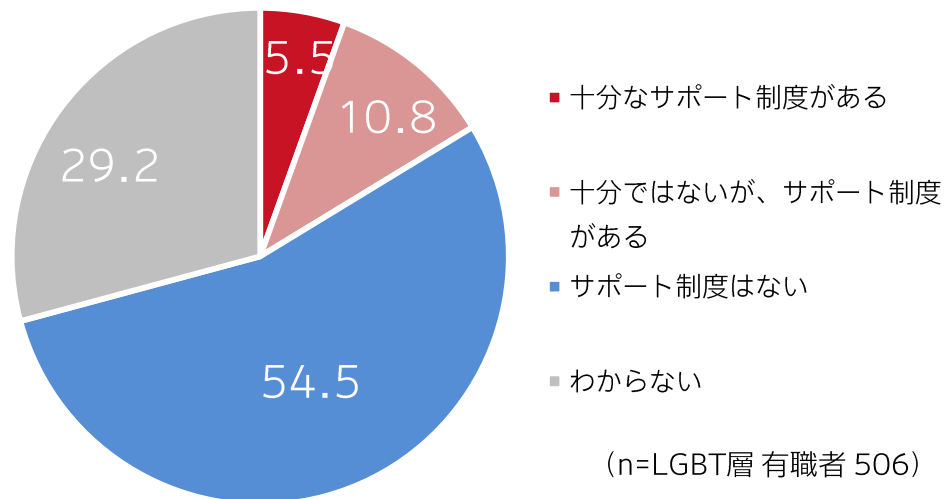
(n=LGBT層 589)

Q (カミングアウトの抵抗があるとお答えの方) その理由を教えてください。



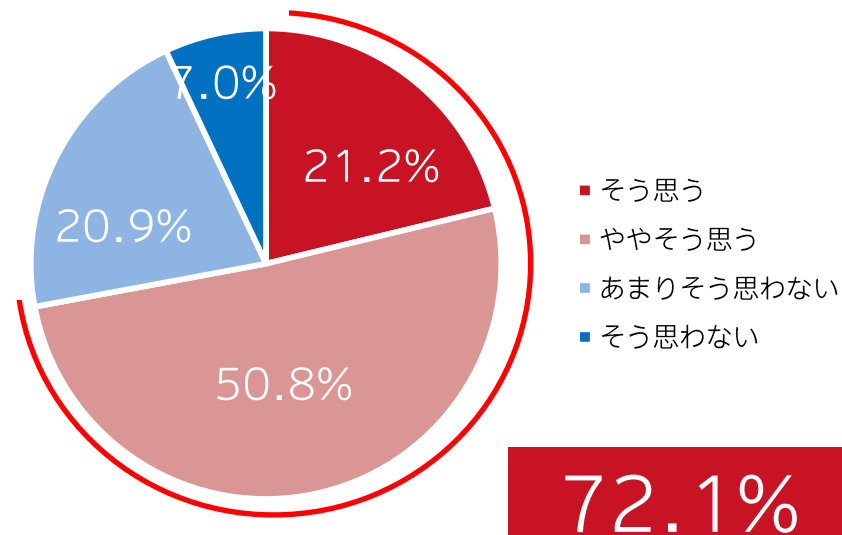
まだまだ安心してカミングアウトしやすい環境はつくられていない

Q：あなたが勤めている企業では、性の多様性に関してサポート制度がありますか。



十分なサポート制度があるのはわずか5.5%

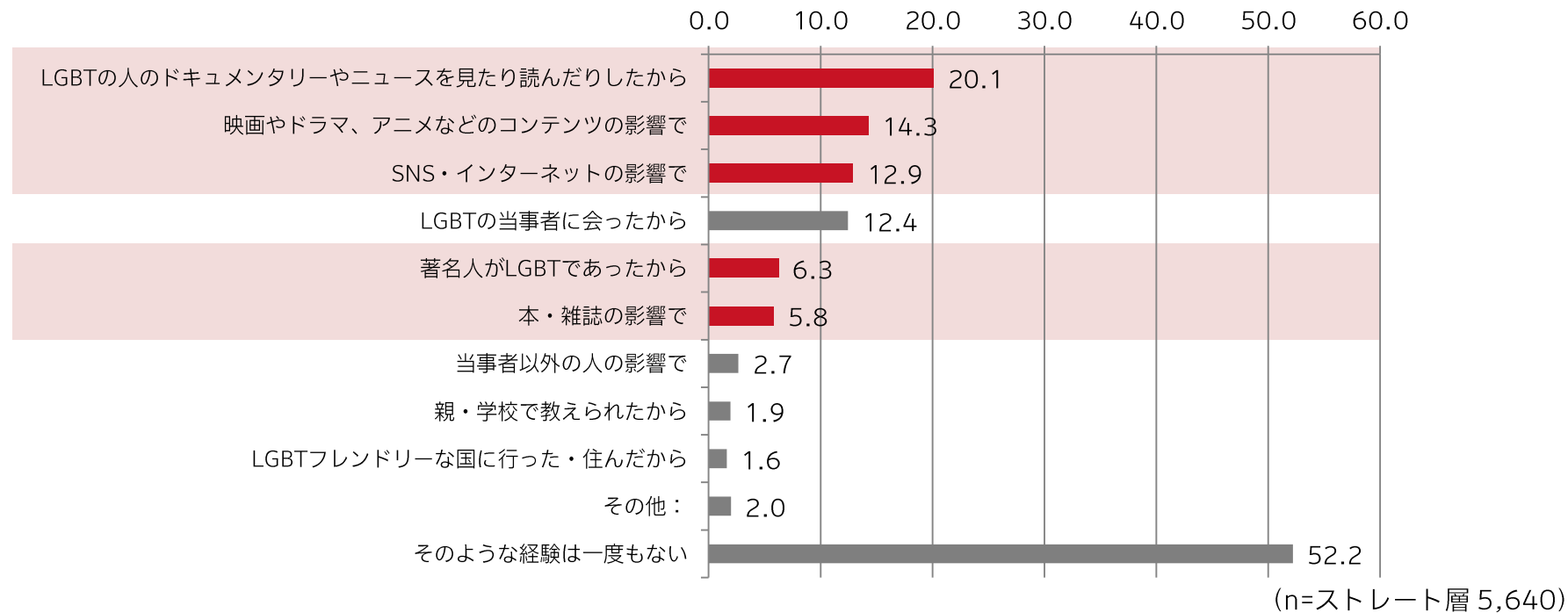
Q:LGBTの差別をなくすため、日本は、
もっと法整備をするべきだと思いますか。



(n=ストレート層 5,640/LGBT層 589)

LGBTをサポートする法整備は多くの人が賛成

Q：LGBTに対する意識が変わった・理解が深まった事が過去にありましたか。
そのような経験があった方は、それはどのような理由ですか。



LGBTに対する意識変革をもたらすのにメディアの力は大きい

このレポートについてのお問い合わせ先
<http://www.dentsu.co.jp/mail>